

北海道地区自然災害科学資料センター活動報告メモ

【平成6年度活動】

(1) 予算の執行

配当額193,600円 [付属施設経費] を通常活動経費及び本センター報告出版などにあてる。

(2) 一般活動 [地区幹事会・センター運営委員会 (合同), 研究懇談会など]

第1回:平成6年8月19日

資料センター運営委員会:

1. 平成5年度活動報告
2. 平成5年度会計報告
3. 平成6年度予算及び事業計画の審議
4. センター報告 Vol. 9 の発刊

第2回:平成6年12月20日

資料センター運営委員会:

1. 平成6年度第2回研究連絡会議報告
2. 災害データベースの構築について
3. センター報告 Vol. 10の原稿募集

第3回:平成7年2月27日

資料センター運営委員会:

1. 平成6年度第3回研究連絡会議報告
2. 第32回自然災害総合シンポジウムについて

(3) 研究教育活動

1. 自然災害資料データベースの構築

平成6年度文部省研究成果公開促進費の下で、全国6地区で自然災害資料データベースの構築を行っている(代表者:村本嘉雄・京大防災研教授)。北海道地区では、工学部・加賀屋誠一助教授が分担者としてデータベースの構築を行なっている。

2. 総合講義(1学年後期)の実施

従前に引き続き、総合講義Ⅰ『災害の学際的研究』(責任者:佐伯浩センター長)を以下の11名で担当、実施した。菊地勝弘(理), 鏡味洋史(工), 勝井義雄(元理), 若濱五郎(元理), 藤田睦博(工), 板倉忠興(工), 佐伯浩(工), 土岐祥介(工), 堀口郁夫(農),

金田弘夫（元文），金子佳弘（道庁）。

3. その他

(4) **地区総会**：1995年2月27日北海道大学低温科学研究所において地区部会と合同で開催

1. 年次報告

2. 特別講演の実施

○藤野和夫（北大低温科学研究所教授）

「私と自然災害科学とのかかわり」

○加藤 誠（北大理学部教授）

「北海道の造構環境について」

○加来 照俊（北大工学部教授）

「スパイクタイヤ裏話」

【平成7年度活動】

(1) **予算の執行**

配当額193,600円 [付属施設経費] を通常活動経費及び本センター報告出版などにあてる。

(2) **一般活動 [地区幹事会・センター運営委員会（合同）、研究懇談会など]**

第1回：平成7年9月26日

資料センター運営委員会

1. 平成6年度活動報告
2. 平成6年度会計報告
3. 平成7年度予算及び事業計画の審議
4. 平成7年度第1回研究連絡会議報告
5. 第32回自然災害総合シンポジウムについて

第2回：平成7年11月20日

資料センター運営委員会

1. 平成7年度第2回研究連絡会議報告
2. 災害データベースの構築について
3. 第32回自然災害総合シンポジウムについて

第3回：平成8年3月13日

資料センター運営委員会

1. 平成6年度第3回研究連絡会議報告

2. センター報告 Vol. 11の原稿募集

(3) 研究教育活動

1. 自然災害資料データベースの構築

平成6年度文部省研究成果公開促進費の下で、全国6地区で自然災害資料データベースの構築を行っている(代表者:村本嘉雄・京大防災研教授)。北海道地区では、工学部・加賀屋誠一助教授が分担者としてデータベースの構築を行なっている。

2. その他

重点領域として「1996年豪雪による広域雪氷災害実態調査(代表者:小林俊一 新潟大学積雪地域災害研究センター教授)」、「1996年北海道古平調豊浜斜面崩落とその災害に関する調査研究」(代表者:中島巖 北大工学部教授)が行なわれている。

(4) 出版活動

1. 北海道地区自然災害科学資料センター報告 Vol. 10 (本号)

(5) 地区総会:1996年3月13日北大農学部農学図書室において地区部会と合同で開催

1. 年次報告

2. 特別講演の実施

○梅田安治(北大農学部教授)

『水田用水温に関する研究の農業土木史的考察』

(6) その他

1. 平成8年3月31日付、堀口郁夫・自然災害科学総合研究北海道地区部会長の任期満了に伴い、平成8年4月1日より後任に北大工学部土木工学科板倉忠興教授の就任が決定した。
2. 平成8年3月31日付、佐伯浩・北海道地区自然災害科学資料センター長の任期満了に伴い、平成8年4月1日より後任に北大工学部土木工学科藤田睦博教授の就任が決定した。
3. 平成7年10月30日第32回自然災害科学総合シンポジウムが北海道大学学術交流会館において159名の参加のもと開催された。
4. 資料センター運営委員会委員の一部に変更があった。新委員は次のとおりである。